

競技用シューズに関する連絡

2021/03/03

競技会出場に際して、事前に下記の内容の確認をお願いします。

ランニングシューズ（ジョギングシューズ、アップシューズなど）で、トラック競技や砲丸投、円盤投、ハンマー投の投てき競技に出場するケースでは注意が必要です。

- ① 2020年12月1日以降、全ての公認競技会で改訂ルールが適用となり、下表の規則に適合しないシューズの使用が認められなくなりました。
- ② 世界陸連（WA）の承認シューズリストに掲載されていなくても2019年以前のモデルで規定内値であれば使用可能です。
－最新のシューズリストはこちらで確認できます（随時更新）－
<https://www.worldathletics.org/about-iaaf/documents/technical-information>
 << World Athletics Shoe Compliance List >>
- ③ シューズの「適合」、「非適合」が不明な場合は、招集所（競技者係）で検査を行うので必ず申し出てください。
 検査の結果 「適合」 → 出場可能
 「非適合」 → 出場不可能
 ※競技後に「非適合シューズ」の使用が判明した場合は失格となります。
- ④ 承認シューズリストで「NO」と表記のあるシューズは規定値内であっても使用は認められません。

☆靴底の厚さに関する規則（TR5.5、TR5.13.3）

種 目	靴底の最大の厚さ (TR5.5、TR5.13.3)	要 件 ・ 備 考
フィールド種目 (除く：三段跳)	20mm	・ 全投てき種目と高さを競う跳躍種目および三段跳を除く長さを競う跳躍種目に適用。 ・ 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	・ 靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (ハードル種目を含み、800m未満の種目)	20mm	・ リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (障害物競走を含み、800m以上の種目)	25mm	・ リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 ・ 競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは、道路競技と同じとする。
クロスカントリー	25mm	
道路競技（競走、競歩）	40mm	
マウンテンレースとトレイルレース（TR57）	制限なし	